



ハンズ太白通信 78号



【発行】 障害者相談支援事業所ハンズ太白

『ハンズ』とは、地域で安心して生活するため手と手をつなぎ支え合いの輪を広げ『手を取り合って』という思いを込めて名付けられました。

【 もくじ 】

- 1. 新しい年を迎えて 1 ページ
- 2. お祭り、生活支援講座の報告 2 ページ
- 3. 感染症対策について 4 ページ

1. 新しい年を迎えて

2026年が始まり、早いもので2カ月が経とうとしています。

この時期は、とても寒く体調を崩しやすい時期ですね。

皆様、体調を崩さないように暖かくしてお過ごしください。

そして、今年度も残りわずかとなりました。

ハンズ太白では、今年度新たにチャレンジをしたことがありましたので、その内容を踏まえて、活動の報告をさせていただきます。

昨年は、生活支援講座にて動画配信を行い、情報を届けることで当事業所に来所することが困難な方の社会参加の機会を広げる取り組みを実施しました。

期間限定や限定公開（チラシに記載しているQRコードからのみ視聴可能）など、制限のある配信になるかと思われませんが、来年度も動画配信を行う予定ですので、視聴していただけますと幸いです。

皆様からご相談をいただく内容から、より生活の場面でお役にたてるような講座を来年度も開催していきます。ぜひ、ご参加をお待ちしております。

今年度もよろしくお願いいたします。



2. お祭り、生活支援講座の報告

① 10月25日（土） ふれあい祭り

今年（ことし）は初めての挑戦（はじ）として YouTube（ちょうせん）にて配信（はいしん）（ライブ、アーカイブ）を行（おこな）いました。多く（おお）の方（かた）に視聴（しちょう）していただき（かた）ており、現在（げんざい）も視聴（しちょう）が可（か）能（のう）です。来（き）てくださ（かた）った方（かえ）が帰（さい）る際（こえ）に声（たの）をかけ「楽し（たの）しかったです。ありがとう（ごう）など、好評（こうひょう）の言葉（ことば）をいた（か）だくこと（か）ができました。来（らい）年度（ねん）もふれあい祭り（まつ）を開催（かいさい）し、地（ち）域（いき）交（こう）流（りゅう）や障（しょう）害（がい）理（り）解（かい）に努（つと）めてま（ま）いります。

② 10月30日（木）

生活支援講座「成年後見人について聞（き）こう」

10名（めい）の方（かた）にご参加（さんか）頂（いた）きました。法律（ほうりつ）事務所（むしよきんむ）勤務（しゃかいふくし）の社会（こうし）福祉（むか）士（しりょう）を講師（もち）にお迎（むか）えし、資料（しりょう）を用（もち）い、成年（せいねん）後（こう）見（けん）人（にん）の概（がい）要（よう）や制（せい）度（ど）につい（て）て約（やく）60分（ぶん）間（かん）の講（こう）話（わ）をいた（か）だきました。講師（こうし）は現（げん）在（ざい）成年（こうし）後（こう）見（けん）人（にん）として業（ぎょう）務（む）さ（さ）れてお（お）り、具（ぐ）体（たい）的（てき）な事（じ）例（れい）な（な）ども交（ま）えな（な）が（が）ら、分（わ）かりや（や）すく説（せつ）明（めい）していた（か）だきました。質（しつ）疑（ぎ）応（おう）答（た）では「成年（せいねん）後（こう）見（けん）人（にん）を考（かん）え（え）るの（の）はいつ頃（ころ）がよ（よ）い（い）の（の）か」「監（かん）督（とく）人（にん）と後（こう）見（けん）人（にん）の報（ほう）酬（しゅう）は」な（な）ど、具（ぐ）体（たい）的（てき）な質（しつ）問（もん）が（が）多（おほ）く、一（いっ）つ（つ）ひ（ひ）と（と）つ丁（てい）寧（ねい）に回（かい）答（た）をいた（か）だきました。

受（じゆ）講（こう）者（しゃ）に実（じっ）施（し）した安（あん）ケート（てい）では、「今（こん）後（ご）生（せい）活（かつ）す（す）る上（う）でと（と）て（と）も参（さん）考（こう）に（に）な（な）った」制（せい）度（ど）につい（て）て具（ぐ）体（たい）的（てき）に知（し）る（る）こ（こ）と（と）が（が）で（で）き（き）た（た）」と評（ひょう）価（か）を（を）いた（か）だきました。

今（こん）回（かい）、生（せい）活（かつ）支（し）援（えん）講（こう）座（ざ）と（と）して初（はじ）め（め）て YouTube で動（どう）画（が）配（はい）信（しん）（ライブ、アーカイブ）を限（げん）定（てい）公（こう）開（かい）で（で）行（い）い、都（つごう）合（ごう）に（に）よ（よ）り参（さん）加（か）で（で）き（き）な（な）か（か）つ（つ）た（た）方（かた）に（に）も講（こう）座（ざ）を（を）見（み）て（て）い（い）た（た）だ（だ）く機（き）会（かい）を（を）設（もつ）け（け）る（る）こ（こ）と（と）が（が）で（で）き（き）ま（ま）した（た）。



③ 11月5日（水） 生活支援ボランティア研修

生活支援ボランティアに登録している参加者2名の方に自立訓練事業のスポーツレクリエーション活動「モルック」に参加していただき、その中で支援者と確認しながら協力をしてほしいことを伝え、利用者様とチームを組んでいただきました。参加者は利用者様へ積極的に声をかけてゲームを盛り上げるほか、ゲーム進行の裏方を率先して手伝うなど、楽しい雰囲気の中研修を進めることができました。

参加者からは利用者様と関わることを通じてボランティア活動への理解を深めることができたという感想がありました。今回の研修を通して、ボランティアの質の向上に繋がっていきます。

④ 12月12日（金） 生活支援講座「特殊詐欺（架空請求詐欺など）の手口と対策を学ぼう」

13名の方に参加していただきました。

宮城県環境生活部共同参画社会推進課から講師をお迎えし、主に特殊詐欺（オレオレ詐欺、ニセ警察詐欺など）、SNS型投資詐欺、SNS型ロマンス詐欺についてスライドや啓発動画を見ながら講話していただきました。詐欺の手口や対策について具体的な事例を挙げながら説明していただき、受講者は熱心に聴き入っておりました。質疑応答では、自分のところにもこんなメールが来た、など自身の体験を話される方もいて、対策についてもそれぞれの事例に合わせて丁寧に回答していただき、内容の理解が一層深まりました。



3. 感染症対策について

冬季感染症と呼ばれるインフルエンザは例年よりも早いスピードで流行中です。一般的にインフルエンザの抗原検査の感度は6～7割とされています。発症からすぐのタイミングで検査をしても体内のウイルス量が十分ではなく、本当は陽性であるにも関わらず、「陰性」と出てしまう場合があります。(偽陰性といいます) 下記に普段できる準備や、受診のポイントなどまとめてみました。

☆インフルエンザウイルスは、発症後48時間でウイルス量がピークになると言われています。しかしながら、抗インフルエンザ薬は発症から48時間以内に服薬をしないと効果が十分に発揮できない側面もあります。「インフルかな?」と思った場合には症状が出て12時間～48時間のうちに受診をし、自分の体調と相談しながらゆっくり療養をしましょう。もちろん身体が辛い、明日は休診日、など状況は様々ですので、絶対にすぐに受診しないでくださいという事ではありません。

☆身体がなにか変だな・・・と思った時は、無理は禁物です。特に冬季感染症と言われるインフルエンザ、ノロウイルスは、体力と免疫力が落ちると、より罹患しやすくなります。いつもと体調が違う、しんどいかもしい、と思った時にはとにかく無理はせず、しっかりと栄養を取り、十分な休息を取りましょう!

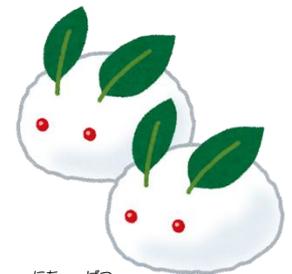
休館日のお知らせ

2月2日(月)、9日(月)、12日(木)、16日(月)、23日(月)

3月2日(月)、9日(月)、16日(月)、21日(土) 23日(月)、30日(月)

4月6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)、30日(木)

5月4日(月)、7日(木)、11日(月)、18日(月)、25日(月)



発行：障害者相談支援事業所ハンス太白

住所：〒982-0012

仙台市太白区長町南1丁目6番10号

仙台市太白障害者福祉センター内

電話・FAX：022-308-8834

Eメールアドレス：hands-ta1@shinsyou-sendai.or.jp

仙台市障害者福祉協会のホームページが新しくなりました。

